

「主な取組」検証票

施策展開	3-(2)-ウ	観光客の受入体制の整備		
施策	② 観光まちづくりの推進			
(施策の小項目)	○魅力ある観光まちづくりの支援			
主な取組	観光地アクセス道路の重点的緑化事業	実施計画 記載頁	173	
対応する 主な課題	○中高年及び外国人の観光客増大に対応するため、公共施設や観光拠点施設のバリアフリー化・ユニバーサルデザイン化など人に優しい安全・安心・快適な観光地づくりに取り組む必要がある。また、多様化する観光需要に対応するため、沖縄らしい風景づくり、憩いの場やレクリエーション施設の整備など、国際的な観光リゾート地にふさわしい観光まちづくりに市町村と連携して取り組む必要がある。			

1 取組の概要(Plan)

取組内容	亜熱帯の特性を生かした魅力ある花や緑であふれる県土を形成するため、観光地アクセス道路の重点緑化を行い、沖縄らしい風景づくりを推進し、国際的な観光リゾート地にふさわしい観光まちづくりに取り組む。						
年度別計画	24	25	26	27	28	29~	実施主体
	0km 道路緑化・重点管理延長			→	70km (累計)	→	県
	観光地アクセス道路の緑化・重点管理						
担当部課	土木建築部道路管理課						

2 取組の状況(Do)

(1) 取組の推進状況

(単位:千円)

平成25年度実績				
事業名	予算	決算見込	活動内容	主な財源
沖縄フラワークリエイション事業	455,200 (155,200)	438,800 (155,200)	国際通りや首里城等の観光地へアクセスする16路線について、緑化(草花等)を実施した	一括交付金 (ソフト)
活動指標名			計画値	実績値
道路緑化・重点管理延長			17.5km	45km
推進状況	平成25年度取組の効果			
順調	国際通りや首里城等の観光地へアクセスする16路線について、緑化(草花等)を実施したことにより、観光地沖縄としてのイメージアップと、低炭素な都市づくりを推進することができた。			

(2) 今年度の活動計画

(単位:千円)

平成26年度計画			
事業名	当初予算	活動内容	主な財源
沖縄フラワークリエイション事業	383,000	平成25年度までに緑化した箇所の継続と新たに観光地へアクセスする道路への緑化を推進する。	一括交付金 (ソフト)

様式1(主な取組)

(3) これまでの改善案の反映状況

--

(4) 成果指標の達成状況

成果指標	基準値	現状値	H28目標値	改善幅	全国の現状
観光地アクセス道路の緑化延長	0km/80km (23年)	70km (24年)	70km/80km	—	—
参考データ	沖縄県の現状			傾向	全国の現状
—	—	—	—	—	—
状況説明	国際通りや首里城等の観光地へアクセスする16路線(45km)について、緑化(草花等)を実施したことにより、観光地沖縄としてのイメージアップと、低炭素な都市づくりを推進することができた。				

3 取組の検証(Check)

(1) 推進上の留意点(内部要因、外部環境など)

観光地周辺における沖縄らしさの創出のため、1年を通して開花を継続させる取組が求められている。
--

(2) 改善余地の検証(取組の効果の更なる向上の視点)

花の生育・開花の状況を継続して確認する必要がある。

4 取組の改善案(Action)

定期的なパトロール等により生育・開花の状況を継続的に確認し、飾花箇所の環境条件に応じた適切な花種を選定するなどの改善を行う。 また、交差点では、地植えを行い、視距を確保して交通安全も図っていく。
--

「主な取組」検証票

施策展開	3-(2)-ウ	観光客の受入体制の整備		
施策	② 観光まちづくりの推進			
(施策の小項目)	○魅力ある観光まちづくりの支援			
主な取組	主要道路における沿道空間の緑化事業	実施計画 記載頁	173	
対応する 主な課題	○中高年及び外国人の観光客増大に対応するため、公共施設や観光拠点施設のバリアフリー化・ユニバーサルデザイン化など人に優しい安全・安心・快適な観光地づくりに取り組む必要がある。また、多様化する観光需要に対応するため、沖縄らしい風景づくり、憩いの場やレクリエーション施設の整備など、国際的な観光リゾート地にふさわしい観光まちづくりに市町村と連携して取り組む必要がある。			

1 取組の概要(Plan)

取組内容	沖縄らしい亜熱帯の特性を生かした魅力のある花や緑であふれる県土を形成するため、主要道路の沿道空間における植樹等を強化し、沿道環境に配慮した道路空間を創出することで、国際的な観光リゾート地にふさわしい観光まちづくりに寄与する。						
年度別計画	24	25	26	27	28	29～	実施主体
	0km 道路緑化・育成管理延長				280km (累計)	→	県
	亜熱帯性気候を活かした道路植栽・街路樹の育成管理						
担当部課	土木建築部道路管理課						

2 取組の状況(Do)

(1) 取組の推進状況

(単位:千円)

平成25年度実績				
事業名	予算	決算見込	活動内容	主な財源
県単道路維持費	683,760	683,760	沿道空間における除草(年平均2回)や街路樹の剪定等を実施した。	県単等
活動指標名			計画値	実績値
道路緑化・育成管理延長			280km	280km
推進状況	平成25年度取組の効果			
やや遅れ	沿道空間における適正な管理は、年4回の除草や剪定が必要だが、限られた予算内で年平均2回の除草や剪定作業の実施になった。しかし、シルバー人材やボランティアなどを活用して適正管理に努めた。			

(2) 今年度の活動計画

(単位:千円)

平成26年度計画			
事業名	当初予算	活動内容	主な財源
県単道路維持費	744,046	平成26年度は、今年度以上に除草(年平均2回以上)や街路樹の剪定等を実施し、沿道環境に配慮した道路空間の推進を図りたい。	県単等

様式1(主な取組)

(3) これまでの改善案の反映状況

--

(4) 成果指標の達成状況

成果指標	基準値	現状値	H28目標値	改善幅	全国の現状
観光地アクセス道路の緑化延長	0km/80km (23年)	—	70km/80km	—	—
参考データ	沖縄県の現状			傾向	全国の現状
—	—	—	—	—	—

状況説明	現状では、年平均2回の実施(除草、剪定)しかできていないが、年4回の適正管理が必要である。
------	---

3 取組の検証(Check)

(1) 推進上の留意点(内部要因、外部環境など)

沿道環境に配慮した道路空間の創出のためには、年4回の除草作業が必要で、予算面で未だ厳しい状況である。
また、除草を優先したことにより、街路樹の適正管理ができていない。

(2) 改善余地の検証(取組の効果の更なる向上の視点)

現状の予算では、年2回の実施(除草、剪定)となっており、予算を増額確保する必要がある。
また、シルバーやボランティア等も活用して適正な管理を行っていきたい。

4 取組の改善案(Action)

適正管理(年4回実施)により良好な沿道空間を創出する必要があることから、維持管理費の予算増額と協力団体(シルバーやボランティア等)の増員も含め取り組んでいきたい。

「主な取組」検証票

施策展開	3-(2)-ウ	観光客の受入体制の整備		
施策	②観光まちづくりの推進			
(施策の小項目)	○魅力ある観光まちづくりの支援			
主な取組	宮古広域公園整備事業	実施計画 記載頁	174	
対応する 主な課題	○多様化する観光需要に対応するため、沖縄らしい風景づくり、憩いの場やレクリエーション施設の整備など、国際的な観光リゾート地にふさわしい観光まちづくりに市町村と連携して取り組む必要がある。			

1 取組の概要(Plan)

取組内容	伊良部大橋の供用開始後に一体的となる宮古圏域に対して、観光振興と定住環境向上に寄与する広域的なレクリエーションの場として、宮古広域公園を整備する。						
年度別計画	24	25	26	27	28	29～	実施主体
	基本構想策定		基本計画、環境アセス、 用地補償、整備			→	県 宮古島市
	担当部課 土木建築部 都市計画・モノレール課						

2 取組の状況(Do)

(1) 取組の推進状況

(単位:千円)

平成25年度実績				
事業名	予算	決算見込	活動内容	主な財源
宮古広域公園基本計画等検討調査	7,185	2,155	宮古広域公園(仮称)計画検討委員会を立ち上げ、基本構想策定に向けた委員会を2回開催した。	県単等
活動指標名			計画値	実績値
基本構想策定			—	—
推進状況	平成25年度取組の効果			
やや遅れ	宮古広域公園(仮称)計画検討委員会を2回開催し、「海と海辺を活かした公園」を基本テーマとして設定し、9地区から2地区に絞り込みをしたところであるが、より詳細な選定基準に基づき候補地選定を行うこととしたため、最終の候補地選定を含めた基本構想の策定が出来なかった。			

(2) 今年度の活動計画

(単位:千円)

平成26年度計画			
事業名	当初予算	活動内容	主な財源
宮古圏域広域公園基本計画策定等事業費	36,030 (5,030)	宮古圏域における新たな県営公園の候補地を選定し、基本構想の策定後引き続き、整備に係る基本計画の策定を行う。	県単等

様式1(主な取組)

(3) これまでの改善案の反映状況

・検討委員会において、観光面だけでなく地元住民の利用にも配慮した公園計画の検討を行った。
 ・県と宮古島市において、検討委員会に向けた課題の整理などを進めていく上で、情報共有及び意見交換を重ね、連携を強化した。

(4) 成果指標の達成状況

成果指標	基準値	現状値	H28目標値	改善幅	全国の現状
—	—	—	—	—	—
参考データ	沖縄県の現状・推移			傾向	全国の現状
都市計画区域内緑地面積	65,155ha (18年度)	69,013ha (23年度)	—	→	—
状況説明	平成22年度に都市計画区域が増加したこと等から、現状値の緑地面積は基準値より増加した。				

3 取組の検証(Check)

(1) 推進上の留意点(内部要因、外部環境など)

・候補地選定の遅れにより、平成25年度に基本構想の策定が出来なかった。
 ・宮古圏域において広域的レクリエーション機能を有した県営公園の整備が求められている。
 ・県は海をテーマとした広域公園を掲げており、地元が要望している防災公園計画とのすり合わせが課題。
 ・地元の意見を汲み入れることや既存の公園の状況を考慮するため宮古島市との連携が重要。

(2) 改善余地の検証(取組の効果の更なる向上の視点)

・最終候補地を選定し、基本構想を早期に策定する必要がある。
 ・宮古圏域における公園の需要(生活面・観光面・防災面など)を把握する必要がある。
 ・県と宮古島市との役割分担及び連携を強化する必要がある。

4 取組の改善案(Action)

・最終候補地の選定を行い、早期に基本構想を策定する。
 ・公園の需要、公園に対する要望について多様な意見を把握するため、アンケート・パブリックコメントを実施する。
 ・検討委員会において、観光面だけでなく地元住民の利用及び防災面にも配慮した公園計画の検討を行う。
 ・県と宮古島市との連携を強化するため、検討委員会等による情報共有及び意見交換を図る。

「主な取組」検証票

施策展開	3-(2)-ウ	観光客の受入体制の整備	
施策	②観光まちづくりの推進		
(施策の小項目)	○魅力ある観光まちづくりの支援		
主な取組	離島空港ちゅらゲートウェイ事業	実施計画 記載頁	182
対応する 主な課題	○中高年及び外国人の観光客増大に対応するため、公共施設や観光拠点施設のバリアフリー化・ユニバーサルデザイン化など人に優しい安全・安心・快適な観光地づくりに取り組む必要がある。また、多様化する観光需要に対応するため、沖縄らしい風景づくり、憩いの場やレクリエーション施設の整備など、国際的な観光リゾート地にふさわしい観光まちづくりに市町村と連携して取り組む必要がある。		

1 取組の概要(Plan)

取組内容	離島観光のブランドイメージを高めるため、離島の玄関口である空港において飾花を行う。						
年度別計画	24	25	26	27	28	29～	実施主体
		3空港	3空港	3空港	3空港		県
	空港ターミナル地区の緑化					→	
担当部課	土木建築部空港課						

2 取組の状況(Do)

(1) 取組の推進状況

(単位:千円)

平成25年度実績				
事業名	予算	決算見込	活動内容	主な財源
離島空港ちゅらゲートウェイ事業	11,000	10,995	新石垣空港他2空港において、ターミナル及び周辺へのプランター設置や植栽樹への植え付けで飾花を実施した。	一括交付金 (ソフト)
活動指標名			計画値	実績値
飾花空港数			3空港	3空港
推進状況	平成25年度取組の効果			
順調	飾花により離島のイメージを高めることができた。また、新石垣空港では、ターミナルビル前面にプランターを設置したことで、空港銘板周辺が観光客の記念撮影箇所として利用されている。			

(2) 今年度の活動計画

(単位:千円)

平成26年度計画			
事業名	当初予算	活動内容	主な財源
離島空港ちゅらゲートウェイ事業	11,000	新石垣空港他2空港において、ターミナル及び周辺へのプランター設置や植栽樹への植え付けで飾花を実施した。	一括交付金 (ソフト)

様式1(主な取組)

(3) これまでの改善案の反映状況

・植え付ける花の種類やプランターの設置箇所などについて検討を行った。

(4) 成果指標の達成状況

成果指標	基準値	現状値	H28目標値	改善幅	全国の現状
—	—	—	—	—	—
参考データ	沖縄県の現状・推移			傾向	全国の現状
離島空港の年間旅客者数	308万人 (23年度)	337万人 (24年度)	383万人 (25年度)	↗	—
状況説明	八重山圏域に新石垣空港が開港したことで離島航空路線全体の旅客数は増加しており、平成25年度は383万人と基準値より70万人の増加となり、H28目標値の381万人も達成した。 また、同事業の実施により、離島観光のリピーターが増加すると思われ、目標値の維持は可能と考えられる。				

3 取組の検証(Check)

(1) 推進上の留意点(内部要因、外部環境など)

・観光プロモーション等により、沖縄県の離島の認知度が高まっていることから、当事業を継続し、離島の玄関口となる空港のイメージアップを図っていきたい。

(2) 改善余地の検証(取組の効果の更なる向上の視点)

・当事業は、花の植え付け業務を障害者就労支援事業所に委託するものであるが、平成25年度は事業開始年度でノウハウが無く、委託先の選定に時間を要し発注が遅れたため、今後は年間を通して飾花できるよう早期に発注する必要がある。

4 取組の改善案(Action)

・年間を通して飾花できるよう、早期の業務発注に努める。

「主な取組」検証票

施策展開	3-(2)-ウ	観光客の受入体制の整備		
施策	② 観光まちづくりの推進			
(施策の小項目)	○誰にでも優しい観光地づくり			
主な取組	案内表示の充実強化(道路案内標識等)	実施計画 記載頁	181頁	
対応する 主な課題	○外国人観光客の受入体制については、多言語表記による観光案内板の整備などが観光客数の拡大傾向に追いついていないことや、国際的な観光地に比べ脆弱な決済インフラや通信インフラの解消が課題である。			

1 取組の概要(Plan)

取組内容	道路案内標識の適切な設置および修繕・更新を行うとともに県内の主要な地名を示す目標地や主要な観光地を示す著名地点等をローマ字、英語を併記することで外国人観光客等の道路利用者に対して情報提供を行う。						
年度別計画	24	25	26	27	28	29～	実施主体
		12基 案内標識の 設置			→	→	県
	案内標識の設置						
担当部課	土木建築部道路管理課						

2 取組の状況(Do)

(1) 取組の推進状況

(単位:千円)

平成25年度実績				
事業名	予算	決算見込	活動内容	主な財源
公共交通安 全事業	698,763 (338,297)	638,337 (336,864)	案内標識(12基)の修繕・更新を行った。	一括交付 金 (ハード)
活動指標名			計画値	実績値
案内標識の設置			12基	12基
推進状況	平成25年度取組の効果			
順調	順調に事業進行中(計画12基、実施12基)であり、観光客を含めた道路利用者の移動の円滑化が図れ、観光振興に資することができる。			

(2) 今年度の活動計画

(単位:千円)

平成26年度計画			
事業名	当初予算	活動内容	主な財源
公共交通安 全事業	643,672 (58,672)	引き続き、案内標識(12基以上)の修繕・更新や整備を行う。	一括交付 金 (ハード)

様式1(主な取組)

(3) これまでの改善案の反映状況

--

(4) 成果指標の達成状況

成果指標	基準値	現状値	H28目標値	改善幅	全国の現状
道路状況(渋滞状況等)に対する観光客満足度(国内客、「大変満足」の比率)	22.8% (21年度)	—	向上	—	—
参考データ	沖縄県の現状			傾向	全国の現状
—	—	—	—	—	—
状況説明	観光立県として、道路案内標識が旅行者にもわかりやすいものとなるよう、関係部署とも連携して、事業を推進することで、成果指標の目標達成に寄与するものとする。				

3 取組の検証(Check)

(1) 推進上の留意点(内部要因、外部環境など)

・平成25年9月の道路案内標識改善方針(案)の通知に伴い、今後は、ローマ字表記を英語による表示・表記に検討していく必要がある。

(2) 改善余地の検証(取組の効果の更なる向上の視点)

・観光立県として、道路案内標識が外国人旅行者にもわかりやすいものとなるように国・県の道路管理者が一体となり、英語表記への改善を推進していく必要がある。

4 取組の改善案(Action)

・道路案内標識の英語表記については、表示内容を点検し、国・県の道路管理者が一体となり、必要に応じ改善を実施するものとし、引き続き、修繕・更新の整備も行っていく。
沖縄ブロック標識適正化委員会においても積極的に情報提供し、表記改善を推進していく。